

### 審議会等会議録(概要版)

審議会等の名称	令和3年度第1回山口県央連携都市圏域推進協議会
開催日時	令和3年11月25日(木曜日)15:30~17:00
開催場所	ユウバルホテル松政 芙蓉の間
公開・部分公開の区分	公開
出席者	山口市長 ほか7名
事務局	山口市総合政策部企画経営課、宇部市政策広報室政策調整課
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長・副会長あいさつ</li> <li>3 議事 第2期山口県央連携都市圏域ビジョンにおける重点プロジェクトについて</li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ(山口県央連携都市圏域推進協議会会長 伊藤和貴) 副会長あいさつ(山口県央連携都市圏域推進協議会副会長 篠崎圭二)</li> <li>3 議事</li> <li>4 その他</li> </ol> <p>主な意見交換内容</p> <p><b>【委員A】</b> この地域、二次交通が本当に問題だと思っている。新たなMaaSの取組なども必要だが、今の二次交通がこれ以上不便にならないような圏域としての取組ができないか。</p> <p><b>【委員B】</b> JRの減便の問題などについて、7市町で連携して要望などしていくことが重要ではないかと思っている。</p> <p><b>【事務局】</b> 今回提案した重点プロジェクトが「もっと便利に」というところに少し軸足が移りすぎていたということも踏まえながら、今年度から公共交通のワーキンググループも立ち上げているので、そこで検討し、要望や具体的な施策について、2月の第2回推進協議会に向けて検討を進めてまいりたい。</p> <p><b>【委員C】</b> 観光地域づくりの取組について、コロナ禍で本当に大打撃を受けており、早く何とかしないといけない。とにかく観光産業の回復、飲食業の回復、消費需要の喚起を促す、</p>

これが非常に大事だと思っている。

コロナ禍前の交流人口の回復に向けて、国や県と連携するとともに、本協議会においても、大阪・関西万博の開催前後に合わせたDC等の誘致、あるいは交流イベントの企画実施をぜひやっていただきたい。

**【委員D】**

今回の重点プロジェクトのうち、「産学官共創のイノベーション圏域づくり」の進め方について、まずは市と大学の1対1のプラットフォーム形成というのを軸に考えている中で、他の連携体制とどの時点で連携を始めていくかのタイミングが課題として出てくると感じているが、ゆくゆくは幅広く連携させていただきたい。

**【副会長】**

共創のイノベーション圏域づくりについて、本市では、成長産業推進協議会というものを今年度から立ち上げ、産学公金、大学、高専、また産業技術センターというような、研究機関と、地元企業の連携のもと、新しい成長産業を生み出していこう取組を進めている。

産業は1つの市町で終わるものではないので、人材の確保であるとか、工場をどこに作るのか、そうしたところの連携は可能だと思うので、まず各市町で尖ったものを作る、その後に連携していくということが非常に大事になるかと思う。

**【委員E】**

コロナの関係で観光、あるいは中小企業は本当に疲弊しており、この対策は、皆さんと一緒に検討していきたいと思っている。

**【副会長】**

事務局への質問として、今回、新しい重点プロジェクトを出していただいているが、これを圏域で実行する意義を考えた時に、第1期ビジョンでこれは圏域でやってよかったところ、県の事業と重なるところ、県を跨いだ市町の枠組で本当にできるのかという部分もあると思うが、圏域としてやることの意義について、この第1期を通してその振り返りを教えていただきたい。

**【事務局】**

圏域でやる意義という点について、まず観光面は、広域連携の効果が非常に大きい分野の一つであると考えている。

例えば、観光施策の推進に当たって、国の地方創生推進交付金というような財源もしっかりと確保できるというような副次的な効果も含めて、観光分野においては、コロナ禍の中においても、大きな意義があったのではないかと考えている。

もう一つ、中小企業の支援という部分について、事業承継の例で申し上げると、企業

等へのヒアリングを行う中で、限られたエリア(基礎自治体)の中での事業承継となると、プライベートな事情もあってなかなかうまく進まないため、広域で取り組んでほしいというお声も受けて、圏域でのプラットフォームを立ち上げようとしているところである。

そういった意味で、都市圏としての、ある程度の日常生活圏における連携というものを考えた時には、この圏域という枠組みは非常に意義があるのではないかというような整理をしている。

#### 【副会長】

観光においては非常にメリットがあるというのは感じている。

観光以外の部分を圏域でやることの意義というのをもう少し強調していただきたいという部分がある。

また、総花的ではなくて、コロナ禍で疲弊したものをこの圏域全体でフォローできるというのがこの圏域の強みだと思うので、まずは例えば観光に特化するとか、やはりコロナ禍のカンフル剤的な意味あいも必要だと思う。

また、スマート圏域づくりでは、目下のところ、どこの市町もデジタル人材が確保できない、この辺りを圏域で確保するというような取組なども考えられるので、圏域の強みというものを再確認していただいてプロジェクトによく反映していただきたいと思う。

#### 【委員B】

他の委員から7市町の取組成果の話が出たが、私としては市の職員が7市町を身近に感じ、それぞれの取組を意識し始めたということが成果の一つだと思っている。

そうした中で、例えば観光で言えば、本市の観光地は宿泊地があまりないが、どうしたら観光客が増えるか、圏域内の温泉地に泊まる人が増えればきっと本市に来る人も増えるだろうとか、圏域の他市がよくなれば、本市にとってもいい影響が生じるというような新たな発想での取組を、本市の中でも検討している。

また、事業承継支援について、県でも取り組まれてはいるが、これも圏域で取り組んだことによって、事業者にとって身近なものに感じられるようになったと思う。

こうした取組を進めることによって、時間はかかるかもしれないが、大きなメリットが生じてくるのではないかと思う。

#### 【会長】

7市町のメリットというような議論が進んでいるが、本市も新山口駅北のKDDI維新ホールの整備が完了したところで、この整備効果が7市町に人流、物流、情報流として波及していくような、そういった展開を考えるよう庁内で議論を進めており、今後、取組の組み立てをしてまいりたいと思っている。

#### 【委員A】

個人的な意見になるが、今後、日本全体でこうした連携中枢のような枠組みが進ん

でいくと考えている。

せっかく取り組むのだから、ぜひやれるものからやっていくというのが非常に大事だろうと思っている。

先ほど説明があった圏域の子どもの施設利用無料化などはすぐにでも取り組んでいただいて、その結果、人の流れのデータが取れることで、観光コースの検討などにも役立てられると思う。

#### 【委員C】

先ほどの議論で出た連携の利点のことだが、山口市、防府市、萩市で消防の通信指令業務の共同運用をすることとなったことは、圏域の中の3つの市が連携を組むという大きな強みであり、経費削減の面においても大きな効果がある。

例えば、ごみの焼却場や図書館の共同利用であるとか、自分の市だけではやっていけない、連携なしではできないことは多い。そういった意味で、今日お集まりの皆さんと、意見交換をしながら、自分の市にとってプラスになることを圏域でどんどんやっていきたいと思っている。事業の協力体制のことも、私としては、先ほど申し上げた山口市・防府市・防府市の消防通信指令の共同運用、これはひとつの大きなきっかけになるだろうと考えている。

第2期ビジョンで大いに成果が出て、やってよかったと、また、他の圏域からもぜひ真似たいというようなことになるように、お願いしたいと思う。

#### 【副会長】

共同での取組分野として、農業が考えられる。

山口県は多品種・多品目というのが強みと言われるが、逆に物流業界からいうと、ロットを考えたら相手にされない。こうした中で、例えば、この圏域で特定の作物を作って勝負するとか、空港に圏域だけで使える物流のカーゴを作って、それぞれ個別で東京や海外に物を送っていたものを集団で送れるようにするとかも考えられる。

そういう規模のメリット、農業を始めとした一次産業を圏域でカバーするというのも一つの手ではないかなと思う。

広域化という点で、道路網もつながってきており、今後、山陰道の整備も進んでくると聞いているので、いかにこのメリットを生かしていくかというのがポイントになると思うので、今後も提案をいただきたい。

#### 【会長】

それでは、第2期ビジョンにおいては、4つの重点プロジェクトや、本日の皆様方からの御意見等をしっかりと位置付けまして、今後、第2期ビジョンの策定を進めさせていただくということでよろしいでしょうか？

(異議なし)

【会長】

どうもありがとうございます。

それでは、皆様、そうした方向のもとで、第2期ビジョンの策定を進めてまいりまして、第2期ビジョンに関連する事業の令和4年度予算につきましては、今後、幹事会において調整を進めさせていただき、そして、来年2月に開催いたします第2回推進協議会において、第2期ビジョンの内容について、最終的な確認をいただくという風に考えております。こういう方向でよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会長】

ありがとうございます。

議事につきましては、以上でございます。

次第4のその他に入らせていただきますが、せっかくの機会ですので、御意見、情報提供などがございましたらお願いしたいと思いますのですが、何かございますでしょうか。

(特になし)

【会長】

それでは、本日は、山口県からオブザーバーとして池田(いけだ)総合企画部次長様に御参加をいただいておりますが、本日の御感想などでも構いませんので、一言いただければと思います。池田(いけだ)部次長様、お願いいたします。

【池田オブザーバー】

発言の機会をいただき、大変ありがとうございます。

先ほど、第1期のKGIやKPIの説明がございました。

KGIにつきましては、このコロナ禍におかれましても目標を概ね達成しているということでもございましたし、また圏域の皆様におかれましては、ゆめ回廊博覧会を始め、目に見えるかたち、動きで取組を進めていらっしゃると思うと強く感じておりまして、今後、この7市町によります連携によります取組が強化、深化されることを大いに期待しているところでございます。

また、第2期ビジョンについても説明がございましたけれども、デジタル化の推進や、ワーケーションを活用した新たな人の流れの創出、これらはまさに、県が取り組んでおり、今後も積極的に取り組む課題でもございますので、ぜひ圏域の皆様方と連携を図りながら、しっかりと私どもも進めてまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

	<p>【伊藤会長】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>その他、御意見はございませんでしょうか。ございませんようでしたら、以上を持ちまして本日予定しておりました内容は全て終了することとさせていただきます。</p> <p>5 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、出席者名簿、関係者名簿</li> <li>・資料1 第2期山口県央連携都市圏域ビジョン策定に向けたスケジュールについて</li> <li>・資料2 第1期山口県央連携都市圏域ビジョンの取組について</li> <li>・資料3 第2期山口県央連携都市圏域ビジョンにおける重点プロジェクトの検討について</li> <li>・資料4 令和3年度第1回山口県央連携都市圏域ビジョン懇談会における委員からの主な御意見について</li> <li>・参考資料 山口県央連携都市圏域ビジョン</li> </ul>
<p>問い合わせ先</p>	<p>山口市 総合政策部 企画経営課</p> <p>TEL 083-934-2747</p>